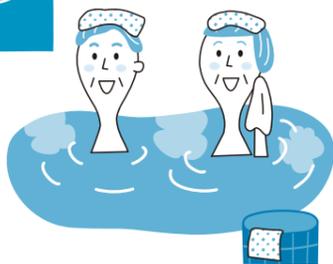


4月1日(水)から 敬老バス券と 温泉磁気カードの 受け付けを開始します!



その“聞こえにくい”は もしかして「加齢性難聴」かも

加齢とともに高い音が聞き取りにくくなる「加齢性難聴」。放っておくと、認知症のリスクにつながることもあります。今回は、加齢性難聴の正しい知識や対処法について紹介します。

◎問い合わせ いきいき長寿課 ☎23-3184

会場は非常に混み合いますので、時間に余裕を持って来場ください。手続きは5月以降も随時、受け付けます。

◎問い合わせ
福祉課 ☎23-3102
障がい福祉課 ☎23-2980

敬老特別乗車券 (敬老バス券)

- 対象 70歳以上または、65歳以上の運転免許証を所持していない市民
- 交付場所 福祉課、各総合支所地域生活課、各地区市民センター
- 交付手数料 千円
- 手続きに必要なもの

【新規(代理申請不可)】

- ・6カ月以内に撮影した写真(横2.5センチ×縦3センチで脱帽し、顔が鮮明に写っているもの)
- ※写真は交付窓口で撮影できます(無料)
- ・マイナンバーカードや運転免許証など本人確認書類

【更新】

- ・所持している敬老バス券
- その他 地区公民館などでの受け付けは、広報都城4月号に掲載予定



健康増進施設利用助成券 (温泉磁気カード)

カードは発行の翌日から利用できます。現在カードを所持している人は、更新手続きは不要です。

●対象・交付場所

①65歳以上の市民(昭和37年4月1日以前生まれ)	福祉課、各総合支所地域生活課、各地区市民センター
②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている65歳未満の市民	障がい福祉課、各総合支所地域生活課、各地区市民センター(リモート窓口対応)

※身体障害者手帳(1・2級)、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳(1・2級)の交付を受けている人は、介護者付き温泉磁気カードの交付が可能

●手続きに必要なもの

【本人申請】 本人確認書類(②は該当の手帳、②の主な介護者は介護を受ける人の該当の手帳および所持者は温泉磁気カード)

【代理申請】 交付対象者の本人確認書類(②は該当の手帳)、代理人の本人確認書類

※①は交付対象者の本人確認書類がない場合、委任状

加齢性難聴とは

40代を過ぎると、高い音が聞き取りにくくなる加齢性難聴。その症状は徐々に進行するため、普段の生活で聞こえにくさに気付きづらいことが特徴です。

また、65歳以降になると、軽度難聴以上の難聴がある人の割合が増加すると言われています。加齢性難聴は決して人ごとではありません。※小さな声や騒がしい場所での会話が聞き取りにくくなる状態

聞こえの仕組み

- ①鼓膜が音で振動
- ②内耳の有毛細胞が振動を電気信号に変換して脳に伝達
- ③脳が電気信号を受け取り、音が聞こえる



加齢性難聴の原因

- ・有毛細胞の減少
- ・電気信号を受け取る脳機能の低下
- ・騒音(騒音の環境にいる、大音量でイヤホンを使用する など)
- ・生活習慣病(高血圧や脂質異常症、糖尿病などが聴覚に影響を及ぼす場合あり)

加齢性難聴を放っておくと

近年、加齢性難聴が認知症の原因の1つになり得ることが分かっています。また、外出先で危険な目に遭う可能性や災害の警報などに気付きにくくなるリスクも高まります。

聞こえと認知症の関係性



- ・周囲とのコミュニケーションを避けてしまう
 - ・会話に参加できず孤立してしまう
 - ・危険を察知しづらくなり、外出がおっくうになる
 - ・音による刺激が少なくなり、脳機能が衰える
 - ・神経細胞の働きが弱まり、脳の萎縮が進む
- 認知症の発症リスクが高まる

「聞こえにくい」と思ったら

「歳だから仕方ない」ではなく、正しく対応することで、聞こえにくさが軽減する場合があります。まずは耳鼻咽喉科を受診し、補聴器が必要かどうか診断してもらいましょう。補聴器が必要と診断されたら、聞こえ方の微調整ができる専門店で購入を検討しましょう。補聴器は、眼鏡のように装着してすぐに改善するものではありません。慣れるまで時間と聞こえのリハビリが必要です。

早めの対策が必要です

加齢性難聴は本人が気付かない場合もあるため、家族の働きかけが大切です。「テレビの音が大きい」「会話中に聞き返すことが多い」など、聞こえにくさのサインに気付いたら、専門医の受診を勧め、早めの対策を行きましょう。



いきいき長寿課 主任主事
山口 郁美

よくある質問にお答えします (Q&A)

▶敬老バス券について

Q 新規で申請する場合、代理申請もできますか

A 代理申請はできません。本人確認や顔写真の撮影が必要のため、申請を希望する本人が窓口にお越しください。なお、更新の場合は代理申請が可能です ※所持している敬老バス券や本人確認書類が必要

▶温泉磁気カードについて

Q 65歳の誕生日以降でないと申請できませんか

A 令和8年度中(令和9年3月31日まで)に65歳以上になる人は、4月1日から申請できます